

# 目 次

はしがき v

序 不定冠詞の使い方に関する誤解と本質……………	1
0. イントロダクション	1
0.1. 誤 解	1
0.2. 本 質	3
1 意味がなければ冠詞なし……………	7
1. 原理 I (意味の非関与)	7
1.1. 固有名詞	9
1.2. 肩書き・称号	9
1.3. 数字・文字	10
1.4. 呼びかけ	12
1.5. 「擬態普通名詞」	13
2 姿不定は冠詞なし……………	19
2. 原理 II (姿かたちの有無)	19
2.1. 食 材	20
2.2. 素材・構成物	23
2.3. におい・音	24
2.4. ジャンル	26
2.5. タイプ: a slice of lemon	28
2.6. 姿かたちをもたない名詞	31
3 「働き」あれば冠詞なし……………	43
3. 原理 III (働きの有無)	43
3.1. 身分・役割	44
3.2. 手 段	52

3.3.	施設名とその目的	55
3.4.	能力・機能	57
3.5.	慣用的表現(1)	58
3.6.	慣用的表現(2)	59
4	範囲が限定されれば冠詞あり	61
4.	原理 IV (限定と非限定)	61
4.1.	空間的限定	62
4.2.	時間的限定	64
4.3.	種類	67
4.4.	共起する語句による限定	68
4.5.	否定と存在	89
5	個別事例には冠詞あり	91
5.	原理 V (抽象概念と個別事例)	91
5.1.	犯罪名と犯罪行為	93
5.2.	治療法と施術	95
5.3.	病名と症状	97
5.4.	その他の個別事例	107
6	複数形にも a/an が付く	115
6.	原理 VI (a/an + 複数形)	115
7	a/an に関するその他の問題	121
7.	本章の目的	121
7.1.	タイプ: a cup and saucer	121
7.2.	一見同義表現	124
7.3.	総称用法	128
8	それとわかれば the を付ける	133
8.	定冠詞の選択原理	133
8.1.	文脈内同定	134
8.2.	複数構成物	138

8.3. 状況的同定	144
8.4. 文化的了解	150
8.5. 対立	154
8.6. 総称	157
8.7. the + 固有名詞	159
8.8. 修飾語句 + 人名 / 地名	177
8.9. the がなくてもよい場合	180
<b>9 限定詞の省略</b> .....	<b>183</b>
9. 本章の目的	183
9.1. 等位接続詞のあと	183
9.2. ペア	185
9.3. 構造的省略	189
9.4. 付帯的表現	191
9.5. 省略的文体	196
参考文献 .....	199
索引 .....	203